

まらまら

今、ひとりひとりが...

2012春
第23号



男女共同参画社会実現のために、女性リーダーとしていろいろな分野で活躍される第1期女性リーダー連続養成講座(グローバルカレッジ)の皆さん

特集 起業 ~**夢**を追い続ける女性たち~2

ハートにきらきら「**ZUMBA**(ズンバ)」.....5

伊賀市男女共同参画センターいよいよ**OPEN!!**.....7

起業「夢」を追い続ける女性たち

この道四十年、清掃業の社長、家事代行・整理収納サービスの代表も務める、たくさんの引き出しを持つ山本ヒサ子さんを紹介します。

元気オーラ全開！

「子どもの頃は、警察官を夢見ていた正義感の強い活発なタイプでした。結婚後、自分の仕事として、子育てをしながら、家庭用科学モップレンタルの代理店を昭和四十五年にはじめました。幼子を背負い、買い物用キャリーバックを引き電車に乗って営業に、伊賀鉄道沿線もよく歩きました。姑に「なんで他所（よそ）のホコリを持って帰ってくるんや？」と言われてたりしつつ、続けてきました。(笑)」

昭和六十二年には、私立病院の床のワックスがけ依頼を受けたのがきっかけで、ビルなどの清掃業務も始めました。そして、平成十四年、息子と出資し、有限会社を設立しました。

亀のようにゆっくりとですが、少しずつ仕事が増えてきました」(笑)



たくさんのライセンス スキルを活かして

長年の経験を活かして家事代行・整理収納の会社を平成二十年に清掃会社とは別に立ち上げ、さらにお客様のニーズに答えるために、昨年「ライフオーガナイザー」の資格を取得したといいます。

「ライフオーガナイザー」とは：アメリカでは一般的に認知されている職業の日本版。空間や暮らし、人生を俯瞰して仕組化する技術のスキル取得者。空間の整理よりも思考の整理を重要視する整理術。三重県では三人が認定されています。

「私たちが子どもの頃は、物が無い時代でした。私と同世代の人は「もったいない」という気持ちから物を手放せない人が多く、若い人達は物があふれた時代を過ごし、物を持ちすぎて整理できなくなっている人が多いのが現実です」

山本さんも、掃除は得意だけど、片付けが苦手だったという。まさに時代が求める仕事のようなです。

「とは言っても、家事代行や整理収納は、誰もが気軽に利用できるものではないと思うので、まず、ご自分でやってみて、それでも行き詰った時、私がアドバイスをさせて頂く。そういうスタンスの仕事

だと思っています」

「私の目標は生涯現役、元気に仕事を続けること!!そして、だれかのお役に立つこと!」

社会貢献を考える山本さんは、伊賀市男女共同参画人材バンクにいち早く登録、活躍の場所を広げています。「老後の楽しみとして、社会貢献していきたいのです」

「楽しくやるうっ!!」が私のモットー

「何をするにも嫌々やらない。多くの出会いに感謝し、皆さんから元気をもらって、何事も楽しんでやっています。その私の元気をおすそ分けできればという思いから、パソコンなど活用し、フェイスブックや、ブログで情報を発信しています。

パソコンは、息子にアドバイスを受けながら、一人でも多くの方に知っていただけるようがんばって勉強しています」

次に、中田美穂さんを紹介します。ケーキ屋さんになると決めて夢をかなえた女性です。

中田さんのお店の印象は、ひと言でいうと「シンプル」。八席分のカフェコーナーがあり、わたし達は、カウンター席でお話を伺いました。

このままでいいのか？ 自分の人生

起業のきっかけは、「自分の人生」をじっくり考えたこと。「娘が小学二年生の時、母子家庭になり、派遣社員としてしばらく工場に勤めていました。ある時『このままでいいのか？誰かに頼って生きようと思わないほうがいいぞ。社会で生きていけるようにしなさい。』この父親からの言葉が人生をじっくり考えるきっかけになりました。」

「私は、一人でいることも好き。ケーキ作りが好き。食べることも大好き。当時、自分好みの洋菓子店がなかったため、それなら自分で作ればいい。大好きなお菓子作りを仕事にしよう…。」

でも、女だし、お金もないので

きるかな？いや、男の人だって、起業するときは借金をしている。自問自答しながらケーキ屋になることを決めました。」

飛び込みで弟子入り

「趣味から始めるケーキ屋だから、自信を持つために修行に行きました。当時、私が一番おもしろいと思った店に電話をして、飛び込みで弟子入りしました。見習いは厳しく、給料は破格の安さ、四日市市までの自動車通勤は、帰宅時間が遅く途中眠たくなり、車中で寝ることもしばしば。」

娘は、まだ小学生で、両親には、本当に世話になりました。」

「開店までの一つ一つが大変だけど、楽しくて楽しくて!!」

目をきらきら輝かせて当時を振り返る中田さん。

「設計図は自分で書いて、自分が動きやすいお店を作りました。冷蔵庫やオーブンを厳選、安くてもいいものを揃えました。」

また、最先端の味を求めて、東京へ勉強に。ケーキの食べ歩きを三日間、一日5〜6軒を回りました。



とにかく必死に食べました。(笑) 準備期間も毎日忙しく、朝帰ったらシャワーを浴びるだけの日々。疲れ果てたそんな時、娘がお寿司を作ってくれたことがとても嬉しく、励みになりました。」

母親・父親役 そして仕事との両立

「離婚も、お店をすると決めたころ、私の勝手なので、仕事を理由にはできないと、PTA活動も学校の行事もできる限り参加していましたが、オープン五周年のときに運動会と重なってしまい、寂しい思いをさせたことがあります。そういう子だから、高校生になっても学校に来てほしいと言っていました。」

「そんな娘さんも大学生に。」

「娘から『仕事をやめて。』と言われたことはなく、私のことを自慢に思っていると聞いて、本当に嬉しい。」

忙しく、両立をするのは、理想だけどなかなか厳しい。細かいことを気にしないで、片意地はらずやってきたのが、よかつたんでしよう。

楽しいことに向かっていくから 大変なこと乗り越えられる

「今の仕事は、自分の好きなことだから面倒くさいとか、嫌とか思ったことはありません。」

私には、これ(仕事)がある！というものを見つけられたから。それは、周りの、特に父親の後押しがあったからここまで来れたと思います。」



中田さんより起業を考えるあなたへ

楽しいことに向かっていくから、
大変なことも乗り越えられる。
「私には、これがある。」というものを見つけてください。

山本さんより起業を考えるあなたへ

まずは、なりたい自分をはっきりとイメージしましょう。
目標達成のためには何が必要か?そのためにはいつ何をなすべきか?
起業しようとする業界の情報収集も重要です。
平日には生計維持のための仕事をし、「土日起業」することなども一つの方法だと思います。あせらず、失敗を恐れず、目標に向かって進んでください。

取材を通して

お二人のお話をうかがい、それぞれの自分の仕事に対する強い思いに圧倒され、女性としての生き方を考えさせられました。

「好きなことだから、楽しんでやれる」

「人に喜んでもらえるからずっと続けていきたい」と現状に満足することなく“まだまだこれから!”という謙虚なひたむきな姿。そんな姿にふれて「努力は決して裏切ることはない。常に大きな夢や目標をもって“必ず実現する”と思い続けること、そうすれば夢は叶えられる」と感じました。

伊賀にはまだまだ多くの女性起業家の方々がいらっしやいます。皆様のご活躍を期待しております。

また、熱い想いを抱いているあなた、一歩飛び出してみませんか。



ハートに、きらきら

脂肪燃焼ラテン系
フィットネス

ZUMBA

ZUMBA (ズンバ)とは、

ラテン系の音楽とダンスを融合させて創作されたダンスフィットネスエクササイズです。速いリズムと遅いリズムの曲が組み合わせられたインターバルトレーニング形式(高負荷と低負荷を交互に繰り返すトレーニング方法)のエクササイズとなっています。

ZUMBAは、心肺機能を向上させるとともに、多くのカロリーを消費しますので、脂肪を燃焼させる効果が期待できます。



少し痩てきた♪と喜んでいたのはつかの間。年末年始でみるみる逆戻り。

そんな時、“ZUMBA”の募集記事が目にとまりました。

“脂肪燃焼”とても魅惑的な言葉が気になりながら飛び込めなかった私。取材と称して二人の編集員を半強制的に誘いました。

ゆめドームには幅広い年代の参加者、知っている人がいたら恥ずかしいな、と思ったけど、音楽が流れると、気にならなくなりスタート!!

さらなる効果を期待して、百均のサウナスーツを着込み脂肪燃焼に挑みました。

インストラクターの陶山^{すやま}さんの笑顔と軽快なラテンリズムに乗せた、明るく楽しい指導にあっという間の1時間でした。



あなたも
気軽に体験してみよう!



報告レポート

日本女性会議2011松江 語ろう・紡ごう“だんだん”の縁を世界へ

初日はまず分科会「グローバル化と共生社会」に参加し、女性の声で社会を変えてきた韓国の話や、各パネラーの独創的な生き方を聞き、少しびっくりしました。

社会に疑問を問いながら自らの生き方を貫いている方、今の教育が機能不全に陥っている事、不登校の人達の抱える問題等々、これからの社会を考えさせられる内容でした。2日目の基調報告では、「次代を担う女性リーダーの育成」と「地域が抱える様々な問題を男女共同参画の視点から考えよう」と訴えられました。次に「エプロンはずして夢の山」の登山家田部井淳子さんによる記念講演では、登山家としての生き方、家庭でのご苦労を学ばせていただきました。常に前向きに人生を歩んでおられる事、失敗した時、人を攻めるのではなく「どうすれば解決するか」を考える事に感動しました。また、自ら東北へ行かれボランティアでハイキングを計画され、東北の方に希望と温かい心で励ましを送られている姿に勇気と元気をいただきました。

今回参加させていただき、自分の視野を広げることができ、また“縁”を大切に男女共同参画についてももっと学ばなければならないと思いました。本当にありがとうございました。

伊賀市男女共同参画ネットワーク会議会長 大仁田 富美子



男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2012」

とき／6月16日(土)

テーマ **縁** ～つながっていますか 男と女～

ところ／ふるさと会館いが 大ホール

- プログラム 12:00 展示・物品販売(いきいきネット会員)
13:00 オープニング(「The Basho」によるダンス)
13:30 講演「息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」
講師 民放アナウンサー 笠井 信輔さん
15:00 展示・物品販売(いきいきネット会員)
16:00 閉会

問い合わせ先／人権政策・男女共同参画課 22-9632



三重県内男女共同参画連携映画祭2012

映画 **「毎日かあさん」**

とき／6月16日(土)

ところ／ふるさと会館いが 大ホール

開場／18:00

上映／18:30～20:45

入場料／無料(整理券が必要です)

定員／550名

託児／1歳から未就学児(申込締切6/7先着10名程度)

問い合わせ先／人権政策・男女共同参画課 22-9632



泣いてるヒマが
あつたら、
笑おう。

配布開始日未定

伊賀市男女共同参画センター

いよいよOPEN!!

県内5箇所目

ハイトピア伊賀
4階に

一体内部はどうなっているのか?
ここで紹介します

スタッフルーム(事務所)

- 男女共同参画センター
- 子育て包括支援センター
- 保健センター

ミーティングルーム

男女共同参画に関する各種会議等で主に利用します。

4階平面図

健康ステーション

健康相談や特定保健指導、健康に関する講習等で主に利用します。

和室

相談室1・2・3

多目的室

50人収容可能なホールです。1歳6ヶ月児・3歳児健康診査にここに広場、各種イベント等を開催します。

情報・展示スペース

男女共同参画・健康・子育てに関する情報を設置しています。

託児室

子育て中の親子の交流広場として開放しています

授乳室

診察室・測定室

調理実習室

6つの調理台とテーブルセットで広々! 各種料理教室や講義等を開催します。

プレイルーム

各種イベント等を開催します。事業日以外は遊び場として開放します。

男女共同参画センターって?

- ❁男女共同参画の推進・啓発・学習の場
- ❁各種相談の場
- ❁情報発信や市民交流の場
- ❁いきいきネットの活動拠点

こんなメリットも!

伊賀市男女共同参画ネットワーク会議(愛称:いきいきネット)に加入の団体の方は、4階のみ各部屋の利用料が **無料** になります。
会員のお申込みは、随時、受付しています。ご連絡お待ちしております。

楽しいイベント盛りだくさん!

Information

ハイトピア伊賀 次世代育成支援事業イベント “広げよう子そだてのわ”

とき / 3月24日(土) 11時~

ところ / ハイトピア伊賀 4階

主催 / こども家庭課、健康推進課
人権政策・男女共同参画課

忍ジャーズダンス / 忍にん体操

子育て講演(朗天狗ブックドクター 三浦伸也さん)

交通安全腹話術 / キッズシアター「かみふうせん」

縁日・バルーンアート・工作など / 読み聞かせ / おもちゃ遊びなど

健康相談 / 男女共同参画パネル展示

お知らせ

次号「きらきら」から、伊賀市男女共同参画センター情報紙「きらきら」として生まれ変わります。皆様のお手元へは、回覧板にてお届けします。また、伊賀市男女共同参画センター（ハイトピア伊賀4階）、本庁・支所・地区市民センター各窓口にも設置いたします。今後とも、よろしくお願いいたします。



第4号からの参加で、いろいろ悩みながら続けて来ました。ここまで続けられたのもメンバーの理解があつてのこと。

私の担当は、体験レポートなどが多く、新しい出会いや、初体験など沢山の思い出があります。

各戸配布となり、記事内容についてやっと声をかけてもらえるようになったのは嬉しいです。新しい「きらきら」も引き続き見てください。

(竹山)

近々オープンのハイトピアビル内に伊賀市男女共同参画センターが生まれます。

市役所から、市中へと一歩を踏み出した伊賀市男女共同参画。それは、市民のためのもの。

その情報紙として、「きらきら」は内容をさらに深め、豊かなものにしていきたいと思います。

なお一層、ご愛読いただきますようお願いいたします。

(三山)

編集後記

編集員になって、一年になります。この間、素晴らしい人々との出会いにいつも感激いたしております。写真を担当していますが、カメラを持つ度にうまく撮れるだろうかと緊張の連続です。

これからも、愛読者の皆様の心に“きらきら”をお届けできるようにしていきたいと思ひます。

(宮田)

男女共同参画を市民目線で伝えていく「きらきら」を。私たちはその思いで色々と企画特集をさせてもらってきました。

先日、研修会で、ランドセルは、昔は黒赤決まっていたが、最近は、色々のランドセルを選べるようになった。自分の好きな色をもつ自由(幸せ)とそれを尊重することが男女共同参画社会だと聞きました。

10年20年先を思って「きらきら」を発信していきます。

(岡)